

柔道競技

1. 期 日 令和7年5月30日(金) 10時00分 開会式 団体試合
5月31日(土) 10時00分 開始式 個人試合
2. 会 場 基山町総合体育館アリーナ
3. 参加資格 (1) 令和7年度、佐賀県柔道協会を経て、(公財)全日本柔道連盟に登録を完了したもの。
(2) その他については、実施要項による。
4. 参加制限 (1) 男子団体試合は選手5名、補欠2名、監督1名、計8名とし、男子個人試合出場者は、各校各階級2名以内とする。また女子団体試合は選手3名、補欠1名、監督1名、計5名とし、女子個人試合出場者は、各校各階級制限しないものとする。
(2) 個人、団体の選手を兼ねてもよい。
(3) 個人試合で、同一選手の2階級にわたる申し込みは認めない。
(4) 個人試合で、申込後の選手変更は認めない。(補欠も含む)
5. 試合方法 (1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定及び全国高体連柔道専門部申し合わせ事項によって行う。
(2) 試合時間は、全て**4分間**とする。ただし、個人試合は、試合終了時に得点差がない場合、もしくは、「指導」差が1以下の場合、GSを時間無制限で行う。「有効」以上の得点差、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。「両者反則負け」の場合はスコアをリセットしてGSを行い、必ず勝敗を決する。
(3) 団体試合の「優勢勝ち」の判定基準は、「有効」または「僅差(指導差が2)」以上とする。
(4) 団体試合予選は、リーグまたはトーナメント方式で、ベスト4は決勝リーグを行う。
ア リーグ戦におけるチーム対チームの勝敗は次による。
(ア) 勝者数の多いチームを勝ちとする。
(イ) (ア)で同等の場合は、「一本」「反則勝」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
(ウ) (イ)で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
(エ) (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
(オ) (エ)で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
(カ) (オ)で同等の場合は、引き分けとする。
イ リーグ戦における順位は、3勝・2勝1分・2勝1敗・1勝2分・1勝1敗1分・1勝2敗・3分・1敗2分・2敗1分・3敗の順とする。
ウ イで同等の場合は、リーグ戦を通じ勝ち数の多いチームを上位とする。
エ ウで勝ち数の同じ場合は、「一本」「反則勝ち」による勝ち数の多いチームを上位とする。
オ エで同等の場合は、「技有」による勝ち数の多いチームを上位とする。
カ オで同等の場合は、「有効」による勝ち数の多いチームを上位とする。
キ カで同等の場合は、「僅差」による勝ち数の多いチームを上位とする。
ク キで同等の場合は、負け数の少ないチームを上位とする。
ケ クで同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による負け数の少ないチームを上位とする。
コ ケで同等の場合は、「技有」による負け数の少ないチームを上位とする。
サ コで同等の場合は、「有効」による負け数の少ないチームを上位とする。
シ サで同等の場合は、「僅差」による負け数の少ないチームを上位とする。
ス シで同等の場合は、代表戦を行う。
代表戦は、その試合に出場した選手の中から代表選手を任意に選出して代表戦を行う。

代表戦の判定基準は「有効」または「僅差（指導が差2）」以上とし、試合終了時に得点差がない場合は、GSを時間無制限で行う。「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる。

シ トーナメント戦の勝敗の決定は次による。

- (ア) 勝者数の多いチームを勝ちとする。
- (イ) (ア)で同等の場合は、「一本」「反則勝ち」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- (ウ) (イ)で同等の場合は、「技有」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- (エ) (ウ)で同等の場合は、「有効」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- (オ) (エ)で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多いチームを勝ちとする。
- (カ) (オ)で同等の場合は、代表戦を行う。

代表戦は、その試合に出場した選手の中から代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦の判定基準は「有効」または「僅差（指導が差2）」以上とし、試合終了時に得点差がない場合は、GSを時間無制限で行う。「有効」以上の得点があった時点、または「指導」の数に差が出た時点で試合終了となる

- (5) 男子団体エントリーについては、3人もしくは4人でも認める。女子団体エントリーについては、2人でも認める。ただし、その際、選手の配列は後ろ詰めとする。
- (6) 男子個人試合は、60kg・66kg・73kg・81kg・90kg・100kg・100kg 超、女子個人試合は、48kg・52kg・57kg・63kg・70kg・78kg・78kg 超の各階級、リーグまたはトーナメント方式とし、シード決定戦を行う。

6. 組合せ

- (1) 専門委員会で抽選により決定する。
- (2) 団体試合、個人試合共、全国選手権佐賀県大会、新人大会を参考にして若干シードする。

7. 選手変更

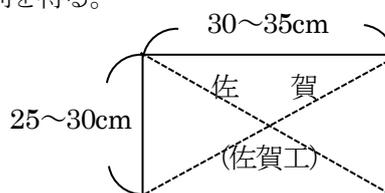
- (1) オーダーの変更は認めない。
- (2) 団体試合において選手交替がある場合は、5月29日（木）までに証明書（学校長）を添えて専門委員長に申し出ること。（必ず退く選手の診断書を必要とする。）
- (3) 交替選手は、1回戦に出場することができない。

8. 計量

公式計量：5月30日（金）団体試合終了から1時間の間に1回のみでの計量で実施する。
非公式計量：5月30日（金）開会式から団体試合終了までとする。

9. 備考

- (1) 男女団体、個人各階級優勝者は岡山県岡山市に於ける全国大会に出場する権利を得る。
- (2) 男女団体優勝校、準優勝校、個人各階級1、2位の者は大分県に於ける全九州大会に出場する権利を得る。
- (3) 柔道衣（背中）に校名と氏名を明示する。



- (4) ゼッケンのない選手及び破損している選手は試合に出場することができない。